

ベンチャービジネス
地域産業

金属イオンで 効果持続10倍

15億円の販売狙う

バイオ関連製品のベンチャー企業、カルファケミカル(本社 横浜市、社長小池恵治氏、資本金三千万円、☎045・504・1120)は悪臭を取り除く効果従来十倍以上持続する高機能脱臭剤を開発した。鉄、ナトリウム、カリウムなどの金属イオンを配合した顆粒(かりゅう)状の物質で、アンモニアをはじめにおいのガスを吸着し、無臭物に分解する働きを持つ。一年以上脱臭効果があるという。同社はこれを素材として食品保管庫、冷蔵庫、げん箱などの脱臭製品を大手流通業者らと共同で開発していく計画だ。

カルファケミが 高機能脱臭剤

新開発の脱臭剤「カルファV」は鉄イオンなど七種類の活性ミネラルを発泡樹脂で封じた。腐敗した魚から出るアンモニア、牛乳や卵の腐敗臭である硫化水素、メチルメルカプタン、トリメチルアミンといった悪臭成分を鉄イオンとの化学反応によって分解する。

現在脱臭剤の主流となっている活性炭は悪臭成分を吸着するだけだが、「カルファV」は吸着すると同時に無臭物と水に

変える新タイプの物質で、脱臭効果が長期間持続するのが特徴だ。アンモニアに対する実験では、脱臭性能が半分以下になる半減期は活性炭が三十日なのに、対し、「カルファ」は五百四十日。一年半の間は薬剤を交換しなくて済む。

また活性炭のように一度吸着した悪臭が再び出まじまじとしない。製造コストもほぼ同じで、人体に無害なため食品分野でも使用できるといふ。

脱・消臭剤市場は年間約五百億円市場といわれる。同社では小売業や衛生用品メーカーと手

を組んで家庭用・業務用製品を開発する方針。一二年後には市場の三割に当たる十五億円の売り上げが目標だ。国内のほか、米国、フィンランドへの輸出も検討している。